

## 雄武町図書館を考える会会議議事録（第4回）

---

### 【開催要領】

- 1 開催日時 平成24年9月20日（木）19:00～21:00
- 2 場 所 雄武町民センター 2階会議室
- 3 出席者 13名

#### 《考える会委員》

細田 尚孝 委員	吉田 雄二 委員	高橋 克美 委員
加藤 洋美 委員	宇野 優子 委員	牧野 京子 委員
小田 嘉幸 委員	城地 剛 委員	湯浅 純人 委員
久保 静枝 委員	金子 徳郎 委員	樫山 優子 委員
中村 葉子 委員		

### 【会議次第】

- 1 開 会（事務局）
- 2 会長挨拶
- 3 議 事

#### 【確認事項】

- （1）第3回雄武町図書館を考える会会議の振り返りについて

#### 【協議事項】

- （1）ワークショップによる協議

テーマ① 「私のつくる図書館」プレゼンテーション

テーマ② 「どんな図書館をつくりませんか？」

- 4 閉 会

### 【配付資料】

- 資料1 第4回雄武町図書館を考える会会議進行表
- 資料2 第3回雄武町図書館を考える会会議議事録
- 資料2—1 第3回雄武町図書館を考える会会議  
「雄武町の図書館の問題点は何か？」ワークショップ結果報告
- 資料3 道内図書館の比較

## 【概 要】

### 1 開 会（事務局）

### 2 会長挨拶

皆さん、お晩でございます。今日もよろしく申し上げます。今日は、第4回目の雄武町図書館を考える会ということで、今日は特に、皆さんが考えている図書館というものを出し合っていただくということで、今日の話し合いで出た内容が決まりになっていくのではないかと思います。ということで、今日は、有意義な会議になると思います。よろしくお願いたします。

### 3 議 事（会長による進行）

#### 【確認事項】

- (1) 配付資料の確認・説明（事務局から）
- (2) 第3回雄武町図書館を考える会会議の振り返りについて（事務局から）  
～「雄武町の図書館の問題点は何か？」ワークショップ結果報告～

#### 【協議事項】

- (1) ワークショップによる協議

テーマ① 「私のつくる図書館」プレゼンテーション

テーマ② 「どんな図書館をつくりませんか？」

#### （会 長）

それでは、これから進めて参ります。題名として「私のつくる図書館」プレゼンテーションということで、どういうことをするかといいますと、皆さんに各グループで、私のつくる図書館、図書館像というものを考えていただきます。次に、「どんな図書館をつくりませんか？」ということも考えていただきます。途中、休憩を挟みながら8時40分から各グループで前回と同様、ホワイトボードで発表していただきます。

今日は発表で終わりになります。次回なんです、今日発表していただいた内容について、皆さんで協議していただこうと思っています。

それでは、まずリレーションということをやりたいと思います。前回は、アイスブレイキングという手法で緊張をほぐしていただきましたが、話し合いをする準備体操といいますか、声を出していただくということ、一番大事なことは、各グループの中で、何でも言える雰囲気づくりをしていただこうと思っています。少しでも緊張が解ければと思います。

皆さんの前に、A4の白い紙があります。これから私がお題を言います

ので、各グループで相談をして答えを出していただきたいと思います。それでは曲名探しです。各グループ10曲以上は探していただきたいと思います。時間は2分です。曲名に「愛」という言葉のつく曲名です。

**(各グループにて曲探しを行い、それぞれ発表。)**

(会長)

それでは、これから本題に入っていきたいと思います。資料1の2枚目、「各グループでの話し合いの進め方1」をご覧くださいと思います。前回と同様、各グループで話を進めていただきます。進め方なのですが、ブレインストーミングということでお願いします。批判厳禁、自由奔放、相乗歓迎、質より量です。これから約20分ですから、19時45分まで1回目の話し合いをしていただきます。今日のテーマは「私のつくる図書館」「どんな図書館をつくりませんか?」ということで設定させていただきました。一言で、どんな場所ですか、どんなところですかということで、コンセプト、基本的な方針、どんな図書館にしたいですかということです。例えば、「人がたくさん集まる場所」といったような感じです。基本的な概念ということで、施設をどうするかというのは置いておいてください。よろしいでしょうか。資料1の(2)ですが、付箋1枚に1つで、1人3枚以上、5分以内で書いていただきます。(3)ですが、1回りしまして順番に付箋を模造紙に貼りながら、書いた内容をグループの中で発表していただきます。1回りしましたら、進行役の進行で、同じ内容のものをグループ分けしていただきます。同じ作業を2回り、3回りしていただきます。(6)ですが、最後に付箋のかたまりごとにマジックで囲ってタイトルを付けてください。どこにも属さないというものは、無理にグループに入れないでください。よろしいでしょうか。それでは始めてください。

**(各グループごとに項目の洗出し、それぞれ発表。)**

(会長)

それでは、ちょっと早いんですがよろしいでしょうか。これから、「私のつくる図書館」と題しまして、プレゼンテーションを行っていただきたいと思います。最初に行いましたコンセプト、それから、「どんな図書館をつくりませんか?」という具体的な内容についてお願いいたします。

(Aグループ)

まず最初に、施設以外のことで話をしました。「楽しい」「楽しみ」「喜び」、それから、「集まりやすい」「和」「憩い」「みんなと集える

図書館」「交流」ということで、タイトルは『ぬくもり』ということにしました。それから、次、「調べやすい」「本がいっぱい」「勉強しやすい」「知識欲」「情報」「資料」「読みたい本がある図書館」「何かを知ることができる」ということで、『知のデパート』というタイトルにしました。それから、「また行きたいと思える図書館」「行って満足できる図書館」ということで、「期待」「来たい」「また行きたい」「また行って、何かを得たい」をかけて、タイトルは『期待』ということにしました。

ここは、それぞれ1つなんですけど、タイトルは付けませんでした。図書館のイメージとして「趣味」「ハイカラな図書館にしてほしい」という意見が出ました。

今度は、施設の方に入ります。まず、「空調」「エアコン」「冷房」「きれいな空調」、つまり、図書館にいて快適でいたいということで、『快適』というタイトルにしました。「広々とした空間」「大きな窓」「高い天井」「明るい照明」「心も開放できるような解放感」ということで『解放感』というテーマにしました。それから、「お話の部屋」「交流できる部屋」「赤ちゃん部屋」「閲覧室」「集会室などがある」「読み聞かせコーナーもある」「静かな部屋もある」「ゲームができるような部屋もある」「お茶も飲める」「1人になりたい時に、1人の空間も保てる」など、色々な機能で欲求を満たせる場所ということで、『多機能』というタイトルを付けました。それから、駐車場関係ですが、「駐車場が広い」「ロードヒーティング」、『安心』という話の中で、駐車場は入ってバックして出ていくということではなく、そのままの方向で出ていけるというのが、子どもさんもお年寄りも利用するので、そういう駐車場だと安全という意見がでていました。それから、「本棚を広く」「見やすい書架」「館内見取り図」「書庫を広々と」「返却BOXコーナーを大きく」ということで、『便利』というタイトルを付けました。あと、内容的なことですが、「トピックスコーナーを設置」「時々タイムリーな話題について、情報を集めておくコーナー」、それから、「ポップによる本のPR・紹介」「どこかの本屋さんじゃないけど、中学生はこれを読め、高校生はこれを読め的な、本の中身を軽く紹介するようなコーナー」「映画・DVD鑑賞会ができるような部屋」「読書会だとか句会、講演会などを積極的に企画してほしい」ということで、『サービス』というテーマを付けました。それから、「専門知識のある司書」「調べたい・借りたい本がすぐ分かる」ということで、『専門』というタイトルにしました。これが、私たちのグループで出た内容です。

(Bグループ)

Aグループが話したと全く同じようなことで、『行ってみたい』施設であるべき、これには色々な考え方があります。図書館というのは大体、個別に利用するのが普通ですが、「親しい人と一緒に行ってみたい」「リピーターの可能性が十分に考えられる施設」であるべきということです。

「利用しやすい施設であってほしい」、それから、「複合施設としての考え方を入れるべき」、そうすると、「また行ってみたい」となります。例えば、「語り部を呼ぶ」「公民館機能」、それから、「男性、女性に関係なく生活面でのボランティアの勉強会」それから、「社会的な説明会、学習会」の開催など、色々と多機能な施設、そういう施設は「やっぱり行ってみたい、集まりやすい」ということになります。それから2つ目は、

『情報発信』ということで、「地域の交流の中に情報交換が期待できる」「気軽に相談することもできる」、そういう色々なことがあれば、皆さん関心を持っていますから、そういう『情報発信』の場であるべき、それと、

『知識を知る場所』ということで、「楽しい学習の場」であったり、本を借りる以外の目的で、「本を借りに行ったけれども、こういうこともやっけていて、顔を出して、色々な人の話を聞いて意見を述べたりする」、そういう場所であるべきです。それと、『文化拠点』、コンセプトとして、

『オホーツクのオアシス、雄武町のオアシス』としたんですが、ここに居ると「喉の渇きも防げる」、多少でも語り合うことによって覚醒が生まれるということです。また、その場所で、「先人、先輩の歩んだ道のりをきちんと知る場所」でもあるべきで、図書機能ばかりではなく、「公民館だとか、色々な組織がそこに入って共に学び合うことができる施設」であるべきで、複合的な文化拠点として考えるということです。それから、施設・サービス面ですが、「老若男女、年齢に関係なく集える場所」として機能したり、『多様化』ということで、これは、色々ありますが1番大事なことは、「図書館を主軸とした歴史の資料館機能」や、「地元の特産品を活かした軽食・喫茶機能」「何回でも足を運びたくなるような施設」が理想である。又、色々なイベントを通して「絵本の読み聞かせ」や、例えば、昔の遊び方などを知らない子どもがたくさんいます。そういう子どもたちに、「昔はこういうことをしていたんだよと言う、言える施設」であるべき、それから、環境ですね。いくらハイカラでも、格好よくても、砂漠の中にあっては仕方がない。やはり、利用する人のボランティア組織の中に、そういう環境整備委員会的なものを作って、花を植えたり、畑を作るだとか、そういうものがあるとより関心が持たれるという発想です。それから、ハード面については『施設の顔づくり』ということで、人と人の

出合いは、大体90%、顔を出すことによって行われます。そういう施設がきれいな、感じの良い顔であったら受け入れられ方も違うだろうということです。ということで、『施設の顔づくり』という表現にしています。それと、「カウンターの高さを一元化しないで、子どもさんには子どもさんに見合った、大人、高齢者、腰の悪い人など、それぞれに見合った多様なカウンター」「トイレへの細やかな配慮が必要」「玄関は広く、明るいスペースに」「談話室や学習室などの独立化」「語らいスペース」、本の関係については、「知恵を絞った借りる人の目線に合った陳列」「冬期間は必然的に荷物が多くなり、一時的に保管するスペースが必要」ということで、機能（ソフト面）が上がれば、施設（ハード面）もつり上がってくる。

人的なことでは、『リピーター増を定着させる対応』ということで、「受入れ、担当職員は懐を大きくして、愛情を持って対応する必要がある」ということです。探したい本があっても、誰に聞いていいかわからないという心配もあり、「施設に見合った職員の資質なり対応する際の優しさ・笑顔」「規則に縛られた対応ばかりではなく、柔軟に対応できる考え方が必要」ではなかろうかということでもまとめてみました。

#### (Cグループ)

前の2つのグループとほとんど重複しますので、同じことは言いません。特に、うちのグループの特徴的なところだけをお話しますと、具体策の附属施設というカテゴリーがあるんですが、人づくりという観点から、子どもたちの学力向上ということを考えると、活字にまず親しませる環境を作って、地域の子どもたちをつくることによって、地域の人づくりを行っていく、そういう施設に図書館をしたいということから、児童センターと図書館をいつでも頻繁に行き来することができる、子どもたちに、小さい時から、活字に親しむ環境をつくるのが非常に大事なのではないかということです。例えば、子どもたちは声を出しますので、大人と一緒に施設だと迷惑がかかるので、特別に、子どもたちのコーナーというか、音が漏れないようなコーナーを設けて、子どもたちが本当に、図書館をいきいきと活用できるような、一方で、大人たちは落ち着いて本を閲覧したり、読書をしたり、そういうような環境をつくって子どもたちを活字に親しませて、地域の人づくり、地域の活性化につなげていけるような、そういう施設を目指すことも大事ではないかということです。以上です。

(会 長)

各グループでの発表、ありがとうございました。ワークショップ、プレゼンテーションを行いました。図書館を考える会として、どんな図書館にしたら良いのかという基盤が出来上がりました。次回は、これを基に、皆さん方で、これを付けたすであるとか、これはどうかな？という肉付けをやっていきたいと思えます。いずれにしましても、長時間に渡り大変な作業でしたが、これで第4回雄武町図書館を考える会を終わりにしたいと思えます。今日はどうもありがとうございました。

(事務局)

次回の会議ですが、10月12日(金)午後7時から、この場所において、本会のアドバイザーである慶応義塾大学の糸賀教授をお招きして、これまで皆さんが協議された内容について、助言をいただき、肉付けをしていきたいと考えておりますので、時節柄お忙しいとは存じますが、出席いただきますようお願いいたします。